

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

令和3年4月1日改正
(令和3年4月1日適用)

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

②施設・事業所情報

名称：大洞こども園	種別：保育所型認定こども園
代表者氏名：堀 部 智 子	定員（利用人数）： 1 3 5 名
所在地：岐阜市大洞桜台1 - 3	
TEL：0 5 8 - 2 4 3 - 2 9 9 0	ホームページ：https://www.obora-kodomoen.com/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 平成14年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 宝和会	
職員数	常勤職員： 2 1 名 非常勤職員 1 4 名
専門職員	（専門職の名称） 名
	保育士 2 6 名
	看護師 1 名
	栄養士 1 名
	調理員 2 名
施設・設備 の概要	（居室数）
	（設備等）
	保育室 6 室 遊戯室 1 室 給食室 1 室

③理念・基本方針（※転載）

【保育の理念】

- ・健康、安全など生活に必要な基礎的な習慣を養い生命保持及び情緒の安定を図る。
- ・人に対する愛情を信頼感、人権を大切にする心を育てると共に自主・協調の態度や道徳性の芽生えを養う。
- ・保育生活の中で、様々な体験を通し豊かな感性を育て創造力・思考力の芽生えを養う。

【基本方針】

1. 子どもの発達援助
2. 子育て支援
3. 地域の住民や関係機関との連携
4. 運営管理

④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

- ・主体的に活動できるよう、手作り家具やコーナーを各クラスに設置し、室内遊びを充実させ、戸外では、広い園庭で四季折々の草花に触れ、食育を通して年長児を中心に、野菜作りを体験している。
- ・広い園庭を駆け回り、大型木製遊具や未満児向けの遊具でのびのび遊んでいる。
- ・クラスごとに好きな絵本を選び、1年を通して読み聞かせをしながら、絵本から発信する大切な思いやかかわり、楽しさなど情操性を育んでいる。
- ・地域の人々と、年間計画のもと交流を通して、社会性を育む体験をしている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 6 年 7 月 1 2 日（契約日） ～ 令和 7 年 3 月 3 1 日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	3 回（平成 3 0 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

<地域の子育ての拠点施設として、地域交流に努めている。>

園の立地する場所は、隣接に小学校、近隣に児童センター、コミュニティーセンター等が存する地域の社会資源に恵まれた保育環境にあり、地域の子育ての拠点となっている。戸外活動を通じた自然や地域社会とのふれあい、地域行事への参加、地域のボランティアや小中学生等との交流、園庭開放、子育て相談等、様々なかかわりを通して、地域交流を深めるとともに、子どもの社会性を育んでいる。

<保健安全面に留意し、看護職員が様々な場面で活躍している。>

看護師が主体となって「保健安全計画」を作成し、毎月「ほけんだより」を発行し、子どもの健康管理の一翼を担っている。また、0歳の乳児クラスも担当すると共に園全体の子どもの健康管理にもあたっている。園日誌には、発熱や怪我等についての記載があり、園全体の日々の子どもの健康について記録に残している。子どもに対しては、クラスごとに「元気会」を毎月実施し、健康についてわかりやすく指導する機会を持っている。

<子どもたちの自主性を促している。>

子どもが自ら興味や関心を持つことで、自主的な活動ができるように環境整備を行っている。例えば、遊びのコーナーが各保育室にあり、子どもたちの発達に合わせた遊具やおもちゃが手作りで用意されている。牛乳パックで帽子や靴下入れ等の製作を通して、子どもたちが「自分でやりたい」「やれた」という自主行動を促し、成長を援助している。また、面白いこと、不思議なこと等感じることができるよう、自然と触れ合える散歩や栽培活動等、友だちとじっくり取り組める遊びを実施し、保育者主導の保育ではなく、子ども主体の保育に心がけている。

＜意欲的に保育実践に取り組んでいる。＞

子ども園の目標にある「心身共にたくましく生き生きとあそぶ子」を育むべく、経験豊富な園長の指導のもと、職員間のコミュニケーションを大切にし、保育に関わる全職員がワンチームとなり、日々の実践を振り返りつつ、意欲的に保育実践に取り組んでいる。

◇改善を求められる点

＜感染症・災害ＢＣＰ（事業継続計画）の見直しについて課題が残る。＞

感染症及び災害ＢＣＰ（事業継続計画）の見直しについては、まだ、途上の段階にあり、今後の課題である。今後の取り組みに期待したい。

＜経営全体に渡る詳細な中・長期計画の策定に向けた取り組みに期待したい。＞

中・長期計画は、保育政策の変動期にある現在、今後の制度動向や経営状況の変化を踏まえ、園として経営の方向性を明らかにした中・長期ビジョンが明確化された内容であるが、経営全体に渡る詳細な計画までには至っていない。今後とも継続して、計画の充実化に向けた取り組みに期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

福祉サービス第三者評価を受けることにより、いろいろな気づきを得て、職員間で日々の保育を見直すことができました。また、自己評価を行っていく中で、職員の保育の質の向上に向けて課題改善に取り組んでいく意識が高まりました。今後とも、地域に開かれた園として、保護者や地域の方々に信頼される園運営に努めていきたいと考えています。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。